

戸籍のお祝い (11月届出分)

★お誕生おめでとう

越善 蒼史(崇仁)岩屋	中里 優月(勝彦)上田屋	田中 千咲(亘)老部	田中 千優(亘)老部
-------------	--------------	------------	------------

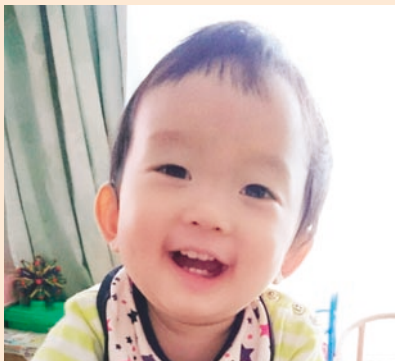
★ご結婚おめでとう

永井 和花(風間浦村)	中村 公政(入口)	吉田 里咲(六ヶ所村)	木村 巧海(老部)
-------------	-----------	-------------	-----------

★お悔やみ申し上げます

菊池 金五郎(目名) 91歳	相内 初男(老部) 75歳	村林 良彦(入口) 77歳
----------------	---------------	---------------

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
ことをお願い致します。



宮本夏樹さん(砂子又)の
次女 **晴菜** ちゃん



須道辰徳さん(鹿橋)の
長男 **翔叶** くん



川口隆太さん(古野牛川)の
長男 **惺羽** くん

満1歳でくす!

東通村 ジオパーク 探訪

前号に引き続き、稲崎地区から大和地区にかけての海岸(「北部海岸エリア」)を紹介します。

東通村は、尻屋地区から大和地区までの海岸が津軽海峡に面しています。尻屋から岩屋にかけては、これまで紹介してきたように、遠いサンゴの海から運ばれた石灰岩やチャート(=付加体)、閃緑岩、泥岩などからできたゴツゴツした海岸です。

しかし、同じ津軽海峡沿岸でも、特に稲崎~大和にかけてはガラリと様相を変え、小石や荒い砂、泥などを含む複雑な地層がおき出しになった赤茶けた崖が広がります。また、崖から崩れ落ちた塊が打ち寄せる砂浜に転がっていて、ザラザラした印象の海岸です。

実は、この崖の至る所には、アサリなどの貝化石や、アナジャコなどの海洋生物が生息していた跡(=生痕化石)が埋もれています。

こういった化石や、砂や小石の地層の積みり方は、遠浅の海や湾のような海に特徴的なもので、この地層が出来上がった当時は海の下にあったことを示しています。そして、この、かつて海の下にあった地層は、東通村の津軽海峡沿岸から目名や早掛平、田名部平野中心部を経て、むつ湾側まで続いています。つまり、下北半島中央部の大部分が海の下だったと考えられ、ひいては、むつ湾と津軽海峡がつながっていた...とも考えられるという事です。



上:「半島」の歴史を刻む地層
下:散策すると貝化石が見つかることも